




ロータリー:  
変化をもたらす

2017～2018 年度国際ロータリーのテーマ

# ロータリー: 変化をもたらす

●会長 白木 誠一  
●幹事 古田 哲朗

 No.1600 平成 30 年 01 月 31 日 第 27 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～ <http://www.serc2720.org> email:serc@serc2720.org

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

## ■点鐘

## ■国歌斉唱

## ■ロータリーソング「奉仕の理想」

## ■新会員入会式

(会長 白木誠一)



山本修三 君



渡邊一弘 君

## ■会長の時間

(会長 白木誠一)

我々はこの年になると、多少なりとも薬の恩恵を受けているとおもいますが、日本でC型肝炎薬の患者は200万人いると、されています。化血研のインターフェロンもよく知られていますね。約1年前に奈良で事件がありまして、C型肝炎薬の治療を受けていた女性が、医師の処方箋に基づき薬局から出された薬ハーボニーを飲もうとした時、以前飲んでた薬と色や形が違うことに気づきました。以前飲んでたのはアルファベットと数字が刻印してありました。薬局で確認したら、ただのビタミン剤でした。この薬は1ボトル150万、1錠8万円もする薬でした。

これは、お金だけの問題ではなく、この薬はC型肝炎薬として3か月で効果の出る薬でしたが、この薬を中断したらウイルスに耐性が出来、中断した後から投薬してもきかなくなり、最悪肝硬変になるそうです。この薬の販売先を警察が調べたら、東京に薬の現金問屋と言うのがあり、そこで売買されたという事です。しかしそこで売買されているのは病院と問屋が多く、病院は仕入れた薬の期限が近づいた薬を処分するために、現金問屋に売るという事でした。病院では薬の売却は認められていないので、個人を通して売却をするシステムになり、問屋との売買が「秘密厳守」と言う商習慣が生まれたところに、偽薬を秘密厳守として、名前を明かさず売っていた。実はこの偽造薬の問題は世界的に大きな問題で、世界でのインターネットの薬販売の40%が偽造薬だそうです。現在世界でまん延している「偽造薬」の世界市場規模は8兆円規模あり、育毛、養毛薬、

ダイエット薬、抗うつ薬、ED薬があり、インターネットで活発な取引がまん延しているそうです。特にED薬は多いそうです。ICPOがこの偽造薬を調査し、偽造薬ネットワークの組織の人間を逮捕しましたが、それで得た資金を殺人や麻薬の転売に使い兵器の技術情報を中東へ流出させる活動にも使っていたそうです。やはり、日本ではインターネットでの薬の購入はしない方が良いでしょう。

## ■幹事報告 (幹事 古田哲朗)



1)  
(株)クマヒラ、(株)熊平製作所 熊平雅人会長(東京RC会員)より、「拔萃のつづり」の送付。  
※受付にて配布中。数に余裕がありますので是非複数お持ち帰り下さい。

### 今後の行事

開催日	行事名	場所	会場	出席者
2018年 3月10日(土)・11日(日)	会長エレクト研修セミナー	大分県大分市	ホルトホール大分	白石紫
3月16日(金)・17日(土)	地区大会	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル・熊本市民会館	案内中(2/5締め切り)
3月31日(土)	熊本城東RC創立30周年記念式典	熊本県熊本市	熊本ホテルキャッスル	全員登録

## ■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 鈴木義親)



「ロータリークラブ」の名称は、1905年ポール・ハリスが創寒波襲来で寒い毎日が続いています。インフルエンザの流行或も最大のようにあります。皆さまご注意下さい。

さて、本ロータリー一年度も前期活動が終わり、後期も本日で1ヶ月が経過いたします。本日の例会は職業奉仕委員会の時間で職場訪問の予定でしたが、目的職場の都合により2月28日(水)に急きょ変更となり本日は通常例会となりました。

2017—2018年の白木会長年度も職場訪問、そして台湾板橋Rクラブの30周年行事参加、城東クラブの30周年祝賀行事、2720地区行事としての地区大会と、多くの諸行事が残っております。

残りの5ヶ月間、行動と頑張りで乗り越えて頂きたいと思います。

ご承知の通り、次年度ロータリー（2018 - 2019）もすでに次期に向けて始動し始めました。

次期会長（白石会長年度）であります。

東南ロータリークラブ役員、理事、委員会名簿も作成間近と聞いております。

- ◎地区チーム研修セミナー（2720地区役員、地区委員）
- ◎P E T S、会長エレクト研修セミナー（白石次期会長）
- ◎地区研修、協議会（次期クラブ担当委員対象）
- ◎R財団補助金セミナー
- ◎会員増強セミナー

上記5点（セミナー）につきましては早期の次期名簿が発表され次第、各委員に連絡がされます。セミナーの開催期間は3月、4月であろうと存じます。

このように次期のロータリーの歯車が回り始めました。現会長は残り期間を行事で、そして次期会長は早期の準備を！お願いいたします。

次々期会長は勉強の期間として次期年度に向け、頑張られん事を祈念いたします。

## ■委員会報告

(ロータリー財団委員長 福井学)



地区補助金管理セミナー報告（1月27日開催）

## ■委員会報告

(会員増強担当委員 松本繁)



「新入会員セレモニー」  
6月末まで45名目標（あと1名）



## ■委員会報告

(職業奉仕担当委員 宮川義行)

職場訪問の件（2月28日、扇田環境センター）



## ■委員会報告

(永野昭一 会員)



ロータリー米山記念奨学会の Facebook  
彌富照皇会員入会の記事紹介



## ■出席報告

(出席・プログラム担当委員 河岸彦治)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
01月17日	41 (免3) 38	27	5	32	84.21
01月31日	44 (免3) 41	29			70.73

新入会

01月31日 渡邊一弘 山本修三 井村宣敏

出席免除

01月17日 住江正治 鷲山法雲 島村徹男

01月31日 住江正治 鷲山法雲 島村徹男

欠席者（6名）

01月17日 内田敏視 山本浩之 山坂哲生  
西村陽介 小松野正彦 益田敬二郎

今度の100%出席の日は 02月28日です。

## ■スマイル

(親睦・スマイル担当委員 緒方公一)



◎白木誠一 10,000円

井村さん、山本さん、渡邊さん、入会おめでとうございます。これから若い方の活動を期待しています。これから敬称は、〇〇会員と呼ばせていただきます。

◎松本繁 5,000円

井村宣敏様、山本修三様、渡邊一弘様、3名のご入会を心より歓迎いたします。又、推薦者の小畑会員、前田昭博会員、宮川会員、最大の敬意を表しスマイル致します。

◎宮川義行 5,000円

井村さん、山本さん、渡邊さん、ご入会おめでとうございます。これから協力してロータリー活動を共に担っていただける仲間として心より歓迎いたします。昨年後半から彌富さんも女性第1号として入会されて、熊本東南ロータリーもますます発展していけそうで楽しみです。私も頑張っていきたいと思います。宜しくお願いします。

◎堀内健太郎 5,000円

3名様のご入会おめでとうございます。楽しいロータリー活動ができますようがんばりましょう。

◎沼田敏雄 5,000円

私の障害者の会”熊本県天声会”喉頭がんによる声帯摘出者の団体ですが、29年度の大事業大会及び研修会が先週で終了

し、3月一杯までのんびり出来ます。・・・が、また来年度の計画づくりが待っています。健康にスマイルです。

◎草村安宏 5,000 円

新入会員の加入を歓迎致します。この勢いで50名を突破しましょう。

◎古田哲朗 3,000 円

井村様、山本様、渡邊様の御入会おめでとうございます。平均年齢が下がってうれしいです。宜しく願いいたします。

◎前田日出夫 3,000 円

井村さん、山本さん、渡邊さんの入会を歓迎してスマイルします。

◎坂梨友一 3,000 円

所用のため早退致します。

◎松岡泰光 3,000 円

新入会員の3名様、オメデトウございます。いっしょにロータリーライフを楽しみましょう。宜しく願い致します。

◎前田昭博 3,000 円

新入会員の方の入会を歓迎してスマイルします。これからのご活躍を期待します。

◎渡邊一弘 2,000 円

本日、熊本東南ロータリーに入会させて頂きました。今後とも宜敷お願い致します。

◎山本修三 2,000 円

この度入会させて頂きます。宜しく願い致します。

◎鈴木義親 2,000 円

3名の新入会員の皆様、入会おめでとうございます。今後の奮闘を祈念申し上げます。

◎永野昭一 2,000 円

新入会おめでとうございます。宜しく願いします。そして、妻の誕生祝いありがとうございました。

◎緒方公一 2,000 円

新入会員の入会を歓迎しましてスマイルします。

■卓話

(永野昭一 会員)

ロータリーについて

「おしえてロータリー」上映

2670 地区 16-17 ガバナー事務所制作  
四国（愛媛、香川、高知、徳島）

■点鐘

編集者 村瀬直久

## 柔の道でスラムから抜け出す

スラムから抜け出すための柔の道。若者たちはリオデジャネイロの貧困街で、オリンピックを夢見る。

By ルイス・レナード・D・コウチーニョ & レナータ・コア

16才～21才の若者34人がマットの上で輪になって座っています。皆、はじめは引っ込み思案でも、柔道に対して少しずつ心を開いていきます。

リオデジャネイロのスラム街、モロダマンゲイラに住むルーカス・フェレイラさんは次のように話します。「柔道を始める前、8歳の私は当てもなく通りをうろつき、ひどい仲間とつきあっていました」。彼はいま20歳。結婚もしています。



モロダマンゲイラのスラムに住むルナン・アルベスさん（19歳）は、柔道で人生が変わると信じ、現在、ロータリークラブ（Rotary Club of Rio de Janeiro-Mercado São Sebastião）がスポンサーとなっている児童施設で教えています。彼自身、この施設に住んでいます。  
写真提供：Vitor Vogel

10歳で柔道に出会ったルナン・アルベスさん（現在19歳）は、はにかみながら早口で話します。「子どものころ、将来は麻薬密売人になりたいという恐ろしい考えをもっていました。でも柔道が別のドアを開いてくれたんです。柔道は、よき市民として、ブラジルのために闘う道を教えてくれました」。

リオデジャネイロのロータリークラブから支援を受けているこの柔道チームには、周囲のスラム街からやって来た若者300名がおり、フェレイラさんとアルベスさんも同様です。コーチをしているジョアン・ルイス・ミランダさん（Rio de Janeiro-Rio Comprido ロータリークラブ会員）は、助手の力を借りながらチームを組織するために奮闘しています。若者たちにとって、チームでの経験は、暴力と犯罪の日々から抜け出す道を提示するものです。

以前リオデジャネイロで警察官をしていたというミランダさんは、1998年に子どもたちの支援プログラムに参加しました。しかし、彼は挫折。「子どもたちの状況は結局、元に戻ってしまい、プログラムは助けにならないと感じました」。

翌年彼は、警察でスポーツプログラムを設置することを上司に提案。練習生わずか3名で始まったプログラムは、その後急速に発展しました。今日、チームはサッカーのクラブ施設で練習し、3～13歳のちびっ子メンバーは近くの教会で練習しています。

### オリンピックの有力候補者に

ビトリア・ピニエイロさんは、2020年のオリンピックを目指して毎日練習しています。彼女にとって柔道は、負のエネルギーからポジティブな目標へと視線を変える助けになるものです。そんな彼女は、インターアクトクラブの会員でもあります。

私は反抗的な若者でした。誰の言うことも聞こうとしませんでしたから  
ビトリア・ピニエイロ（Força Jovem Judo-CFC インターアクトクラブ会員）

自分は誰の言うことも聞かない反抗的な若者だったと語るピニエイロさん。前回のブラジル柔道選手権で3位となり、もっと上を目指すことを決意しました。

コーチのミランダさんは、リオの悪名高いスラム街で育った柔道金メダリスト、ラファエラ・シルバが、すべてが可能であること



をチームに教えてくれたと話します。「スラム街出身者が世界チャンピオンになるのを見届けるのは、本当に素晴らしいことです」。

この柔道チームは二度も州選手権を勝ち取り、国内屈指の実力を誇ります。世界選手権で優勝したこともあり、昨年は5人の選手がブラジルでの選手権で、金、銀、銅のメダルを勝ち取りました。



数々の選手権を勝ち取った選手たち。左より：カリーヌ・アンドレイドさん（リオデジャネイロ選手権金メダリスト）、カーラ・ドス・サントスさん（2015年国内チャンピオン）、イサベル・シルバさん（2013年世界選手権準優勝）、ヘレナ・ミランダさん（国内選手権銅メダリスト）  
写真提供：Vitor Vogel



練習中のチームメンバー  
写真提供：Vitor Vogel



14歳以上のチームメンバーには、ロータリーアクティブクラブ会員も含まれます  
写真提供：Décio Luís Escudero Garcia



ロータリークラブが後援している児童施設を訪れたインターアクター  
写真提供：Décio Luís Escudero Garcia



チームメンバーに囲まれたロータリアンのデシオ・ルイ・エスクデロ・ガルシアさん（中央）、コーチのジョアン・ルイス・ミランダさん（ガルシアさんの左）  
写真提供：Vitor Vogel

### 空腹で氣を失っても不思議じゃなかった

チームとして常に成功の道りを歩んできたわけではないと、警察官を引退し、ボランティアで柔道を教えてきたミランダさんは話します。「6年前までは最高でも15位だったんです。選手もトレーナーも優秀ではありましたが、でも子どもたちは、空腹で氣を失っても不思議じゃないような状態だったのです」

その後、ロータリークラブの支援によって選手たちのパフォーマンスは変わりました。クラブは地元の食糧バンクと協力し、食べ物を毎月、チームメンバーとその家族に提供しました。

また、ロータリー第4570地区の17クラブによってユニフォーム代と競技登録料が賄われ、筋力トレーニング設備も設置されました。彼らは、オリンピック武道競技のための支援を行っているロータリーグループ（GRAAMO）と協力し、地元レストランの使用済み食用油をリサイクル工場に売って資金を調達しました。フランスのINEO do Brasil Engenharia e Sistemas社もチームの主なサポーターです。

私たちの目標は、何かよいことへの道と、犯罪以外の選択肢を子どもたちに示すこと  
ジョアン・ルイス・ミランダ（ロータリー会員&柔道コーチ）

### 一人ひとり、新しい生活へと

チームの誰もがプロのアスリートを目指しているわけではありません。ジャーナリズムや海洋生物学分野での仕事を考えている人

もいます。子どもたちから「教授」と呼ばれているジョアン・ルイス・ミランダさんは、子どもたちに将来のためのガイダンスを示してきました。

「みんな貧困地域に住んでおり、一人ひとり丁寧にサポートしながら地域社会を改善することが大切。私たちの目標は、何かよいことをする方法と、犯罪以外の選択肢を子どもたちに示すことです」。

柔道プログラムへの参加は無料。しかし、プログラムに残るための要件があります。それは、ちゃんと学校に通い、よい成績を取り、家族、友だち、同級生、そしてチームメンバーを尊重することです。

柔道チームに入って2年目のイーレイン・マルティンさんは次のように話します。「先生がどれほど私たちの力になっているか、先生たちには分かってないかもしれません。私は心の底から言いたいことがあります。それは、私たちは本当のファミリーだということです」。

（編集者より：本記事に登場し、創設者またコーチとしてこのForca Jovem 柔道チームを育て上げたロータリー会員のジョアン・ルイス・ミランダさんは、2017年1月に逝去されました。ご冥福をお祈りいたします。）

### 扇田環境センター（2018/2/28 職場訪問予定）



扇田環境センターでは、東部及び西部環境工場からの焼却灰や家庭からの埋立ごみ、資源物等の選別残さ（リサイクルできないもの）を埋立処分しています。

埋立作業は、即日覆土（ごみが搬入された当日のうちに土でごみの表面を覆うこと）とし、ごみのおいよごみの散乱による環境悪化が起らないようにしています。

また、平成17年9月から破碎・選別機（ごみを細かく砕き、磁石で鉄を回収する機械）等を導入し、埋め立てるごみの容量の削減と資源の有効利用に取り組んでいます。

さらに、埋立地周辺の地下水や河川の汚染が起らないように、二重遮水構造（汚水を地下に逃がさない構造を2重に行っていること）や排水処理施設（下水道又は河川に放流するために汚水を浄化する施設）を設置し、環境汚染が発生しないように維持管理を行っています。

扇田環境センター（新埋立地）施設概要

所在地	岐阜市北区貫町1567番地
電話番号	096-245-2696
埋立方式	セル＆サンドイッチ方式
埋立総容量	1,499,700m <sup>3</sup> （2期工事完了後）
浸出水処理施設能力	400m <sup>3</sup> /日
竣工	平成24年3月